

キコニアレター

2019.3.15 発行 No. 20



ほろびゆくものは みなうつくしい
しかし ほろびさせまいとするねがいはいは
もっとうつくしい
——
阪本 勝

写真提供：高橋秋桜子氏（福岡県）



兵庫県立コウノトリの郷公園
副園長

TAKAGAKI Masahiro
高垣 正広

兵庫県立コウノトリの郷公園（以下「郷公園」）に入
て左に歩いていただくと、三角屋根の豊岡市立コウノ
トリ文化館の横に石碑が二つ並んでいます。一つは、
平成17年（2005年）初放鳥時の人々の感動と喜び
を秋篠宮殿下・妃殿下が詠まれた句碑です。そして、
もう一つが冒頭に引用した句、兵庫県がコウノトリの
保護増殖事業に取り組むと決めた昭和30年（1955
年）に、当時の阪本勝兵庫県知事がその決意を詠んだ
句が刻まれたものです。

そして平成11年（1999年）に誕生した「兵庫県
立コウノトリの郷公園」は、今年満20歳を迎えます。

世界に類を見ないコウノトリの再導入（リイントロ
ダクション）の成果はというと、今や野外のコウノト
リは140羽を数え、47都道府県全ての空でその凛々し
い姿を見せるまでになりました。さらには、徳島県鳴門市、
島根県雲南市と京都府京丹後市など兵庫県但馬地域以
外でも新たな繁殖地が生まれています。初放鳥から10
数年、個体数の飛躍的な増加と繁殖地の広がりは、研
究者をはじめ誰もの予想を超えた素晴らしいものとい
えます。

節目の開園20年にあたっては、古くなった自然観察
路の再整備や野外コウノトリの繁殖を観察できるあず
まや『現代の鶴見茶屋』を整備中です。また、今年秋
には非公開ゲート付近にドーム型のケージを設置して、
その中でペアを飼育し皆さんに見ていただくことも計
画しています。そのほか、附属飼育施設コウノトリ保
護増殖センター第1フライングケージ、通称『約束の
ケージ』の文化財登録も進めていきます。郷公園20歳
の誕生日には、記念の式典とシンポジウムを開催し、
これまでの歩みと未来への展望について皆さんにご紹
介したいと思っています。

今年も春が訪れ、郷公園の前でも野外コウノトリの
繁殖が始まっています。飼育のコウノトリはもちろん、
野外のコウノトリもまた皆さんをお待ちしています。
ぜひ郷公園へお越しください。きっと、大空を雄大に
飛翔するコウノトリに出会えることでしょう。その日
からあなたはコウノトリファンになること間違いあり
ません。

コウノトリの個体数（2019.3.12 時点）

飼育

施設・拠点名	オス	メス	計
兵庫県立コウノトリの郷公園	30	34	64
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	19	15	34
養父市伊佐拠点	0	0	0
朝来市三保拠点	1	1	2
計	50	50	100

野外

カテゴリー	オス	メス	計
リリース	16	13	29
野外巣立ち	31	52	83
野生・由来不明	0	2	2
他府県リリース	10	4	14
他府県巣立ち等	4	8	12
計	61	79	140

兵庫県立コウノトリの郷公園

Hyogo Park of the Oriental White Stork

和歌山県有田郡有田川町を訪ねて

<https://www.town.aridagawa.lg.jp/>

平成30年12月26日NHK「おはよう関西」にて、和歌山県有田川町に長期滞在しているコウノトリの話題が取り上げられた。有田川町ではコウノトリの滞在1年が過ぎたことを記念して、同年11月このコウノトリに特別住民票を交付している。番組では、LAM-OWSメンバーであり、このコウノトリの見守り活動・撮影を続けてきた岩崎州男氏が登場し、コウノトリが有田川町に定着することへの思いを語った。これを受け、平成31年1月23日、兵庫県立コウノトリの郷公園が有田川町を訪問、現地を視察した。

郷＝兵庫県立コウノトリの郷公園
有＝地元観察者、有田川町役場職員

郷：有田川町ではどんな場所でコウノトリが観察されていますか。

有：有田川町にはミカン畑が多く、（一般的にコウノトリがエサ場とするような）水田がありません。代わりに農業用水としてのため池があり、冬にはその池を干し水位を下げるため、そこがコウノトリのエサ場となっています。春には再び水位が上がるためコウノトリは川へ移動します。

有：定着から繁殖に至るまでのコウノトリの生態を教えてください。

郷：コウノトリの繁殖は3、4歳から始まりますが、今回飛来しているコウノトリは満1歳で、亜成鳥、つまり未成熟な鳥です。これまでのデータから、コウノトリの幼鳥は巣立ってしばらくは親と共に暮らし、秋になると遠出することが多いことがわかっています。飛来先で安定してエサがとれる場所を見つけると、その場所を記憶して後年何度も訪れることがあるのですが、そのなかで年頃となったとき同じく年頃の相手に出会えば、その場所で繁殖する可能性がでます。そのようにして全国各地に繁殖地ができ、さらにその子どもが繁殖したりなどして遺伝的な交流ができるのです。かつて日本でも各地に点々と繁殖地がありました。それが本来の姿なのだと思います。現在では兵庫県、徳島県、島根県、福井県、京都府に繁殖地ができおり、それが少しずつ全国へ広がっていくものであると考えます。

有：有田川町にコウノトリが定着するには何が必要でしょうか。

郷：現在ある程度の期間コウノトリが滞在しているということは、有田川町はコウノトリにとって、エサをとることができ、かつ生存が脅かされない環境であるということです。今できることは、当面はまず見守ることと、同時により良い環境づくりに取り組むことです。目標は、1年を通してエサ（水生動物や昆虫など）がとれるようにすること。環境整備は個人単独では継続できないので、行政の協力も必要でしょう。今後ぜひ検討・実践していただければと思います。1年じゅう安定してエサをとれる環境づくりが進んでいけば、コウノトリの定着・営巣の可能性が見えてきます。それまでは見守って、繁殖が行われたら、次の段階へ移るということでもいいのではないのでしょうか。

また環境づくりと同時に、コウノトリを観察する一般の方へのマナーの周知も進める必要があります。撮影時にはコウノトリから150メートル以上離れること、農道に車を乗り入れることで通行や作業の邪魔にならないよう注意すること等を、周知することをお勧めします。また、1年じゅうエサのとれる環境づくりとは言っても、エサを直接やったり池にまいたりすることは決してしないでください。コウノトリはペットではなく野生動物であるため、一定の距離をとりながら上手に共存していくことが重要であると、地域住

民に知っていただく必要があります。

野外コウノトリの数が増えていくなかで、高圧鉄塔や電線にぶつかりコウノトリがケガあるいは死亡するという事例も発生するようになってきました。そのような際には、自治体において複数の部署の横断的な動きが必要となってきます。ぜひ町役場内での情報共有を行ってください。

地元観察者と町役場職員との打ち合わせののち、私たちは現地視察を行い帰路につきました。地元観察者でありLAM-OWSメンバーの一人である岩崎氏は、飛来当初から「かけるくん」の観察・撮影を行ってこられた方です。今回の視察も、岩崎氏の情報提供のおかげで実現しました。コウノトリは日本各地に飛来するようになりました。人とコウノトリが共生していくためには地元の観察者と地域行政とが良いチームワークを作り情報共有していくことが大切です。コウノトリの郷公園はそのためのアドバイスを惜しみません。



写真左 町のあちこちで栽培されているみかん
(提供：有田川町公式Instagram)

写真右上 岩崎氏にため池を案内していただく

写真右下 ため池で確認した「かけるくん」



No.13
RR
[コラム]
column

今年度は修士課程修了者6名に加え、はじめての博士課程修了者1名を送り出し、名実ともに大学の陣容が整った。一方、屋台骨を支えてきた江崎・井口・先山三先生が定年退職される。これまでのご指導・ご鞭撻に感謝申し上げつつ、5年の「伝統」をどう引き継ぐか、あらたな模索が始まる。

望鶴生

2005 年に兵庫県が再導入を開始したコウノトリは各地へ飛来し、世代を重ね、2017 年には全ての都道府県でその飛来が確認されました。しかし、今や 140 羽を超える野外コウノトリがそれぞれどこにいるかということが、なぜわかるのでしょうか。

それは、コウノトリを目撃した方が写真とその位置情報などを、そのつど郷公園へ知らせるという地道な努力によるものです。試験放鳥以来全国から寄せられた情報はこれまでに 5,500 件を超え、これが科学に基づくコウノトリの野生復帰を支えています。郷公園では 2018 年 8 月からこのような情報を提供くださる方を「コウノトリ野生復帰事業特別協力員＝LAM-OWS」として認定することとしました。

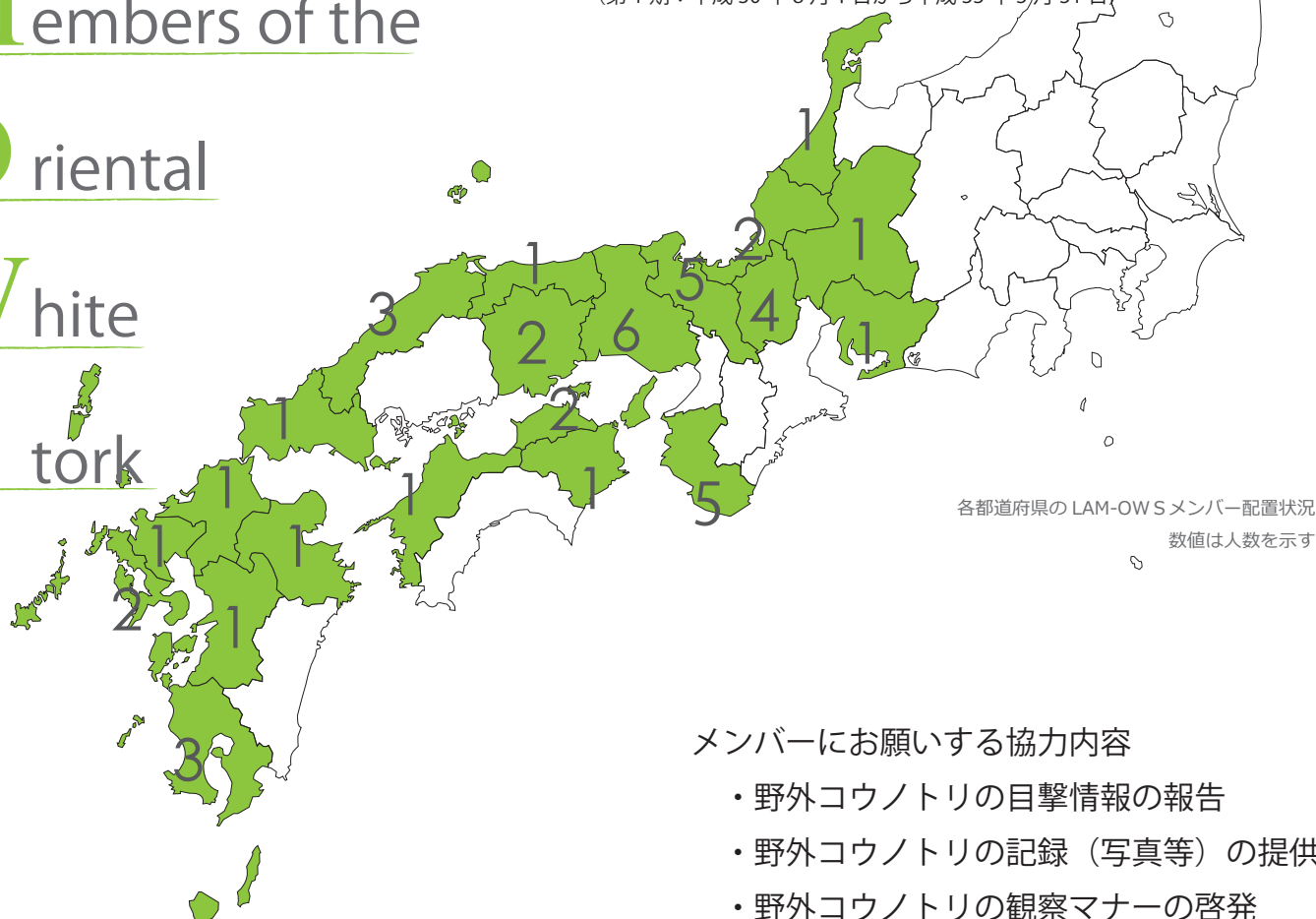
Limited Associate Members of the Oriental White Stork

設置目的

信頼に足るコウノトリ飛来情報を全国各地から持続的に収集するため

認定基準

一定数の飛来情報を郷公園へ提供し、それがコウノトリ野外個体群のマネジメントに貢献したと認められた場合に認定する。認定は年度単位で行い、有効期間は 3 年間とする
(第 1 期：平成 30 年 8 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日)



メンバーにお願いする協力内容

- ・ 野外コウノトリの目撃情報の報告
- ・ 野外コウノトリの記録（写真等）の提供
- ・ 野外コウノトリの観察マナーの啓発

近畿地方を中心とする西日本に多く認定させていただいた LAM-OWS メンバーですが、今後は全ての都道府県に配置することを当面の目標としています。兵庫県以外にもコウノトリの繁殖地が誕生したものの、コウノトリの野生復帰はまだ道半ば。1 件でも多くコウノトリの目撃情報をお寄せいただきますようお願いいたします。メンバーへは「キコニアレター」の送付をはじめ郷公園情報を提供する予定です。

コウノトリ野生復帰事業特別協力員
ラ ム オー ダブリュー エス
LAM-OWS

INFORMATION

コウノトリの 子育てをライブ配信

好評の「野外コウノトリの子育てを観察することができるライブ映像配信」を今年も始めました。今年はシステムを変更し、「YouTube LIVE」サービスを利用しています。

※昨年までとは視聴方法が異なりますのでご注意ください。



【祥雲寺ペア プロフィール】

オス：21 オス 10F ヨウゾウ (J0021) 満8歳

メス：12 メス 09F 112 (J0012) 満9歳

2013年～2015年 庄境巣塔で繁殖

2016年～2018年 祥雲寺巣塔で繁殖

2019年 同巣塔で抱卵中

【視聴の手順】

- ①YouTube にアクセスする
ブラウザのアドレスバーに
「https://www.youtube.com/」と入力、
[Enter] キーを押す
→動画配信サイトへ
- ②動画を選択する
動画検索バーに「owstv 営巣」と入力、
[Enter] キーを押す
→【ライブ】野外コウノトリ（祥雲寺ペア）の営巣をクリック

- ③動画を視聴する



3年ごしの努力、ついに結実 「約束のケージ」模型完成！



コウノトリの保護増殖・野生復帰事業の原点「約束のケージ」。
兵庫県立コウノトリの郷公園では、兵庫県立豊岡総合高等学校の協力を
得て、3年がかりで「約束のケージ」模型制作プロジェクトを進めて
きました。そしてついに模型が完成、郷公園に寄贈されました。
総合高校では毎年3年生の希望者が制作を担当、翌年には新3年生に引
き継ぎをするという形式で、実物のケージの測量から、100分の1のラ
フ模型制作を経て、今回の30分の1の模型制作へとバトンを繋いででき
ました。模型は、今後イベントなどで活用させていただきます。

「約束のケージ」とは

豊岡市野上にある兵庫県立コウノトリの郷公園附属飼育施設コウノトリ保護
増殖センター第1フライングケージの通称。野生コウノトリが減少の一途をた
どっていた1965年、野生コウノトリを捕獲し繁殖させることを目的に建設し
た最初のケージです。当時の関係者が、「必ず野に帰す」と約束したことから、
この名で呼ばれるようになりました。現在は老朽化に伴い、このケージ
での飼育は行っていません。

兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 オープンキャンパスを開催

大学院や入学試験の概要を紹介し、施設・展示をご案内します。
研究や学習についての相談も可能です。

対象：大学院の受験を具体的に考えている方、
大学院に興味をお持ちの方など

日時：平成31年5月5日(日) 13:45-16:15

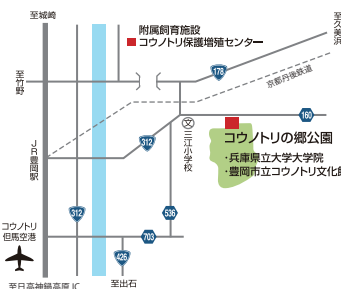
場所：豊岡ジオ・コウノトリキャンパス
(兵庫県豊岡市祥雲寺128番地)

申込・問合せ：0796-34-6079(キャンパス学務課)



ACCESS

- ◎自動車で
神戸から[約2時間30分]
姫路から[約2時間]
最寄り日高神鍋高原ICから約30分
- ◎公共交通機関で
JR山陰本線「豊岡駅」から約4.5km
全但バス(コウノトリの郷公園・法花寺・下の宮行き)
コウノトリ但馬空港から約12km



編集後記

毎週土曜に開催しているガイドウォーク。奇数週には飼育員をゲストに
招き、コウノトリのエサや羽、偽卵などいろいろなアイテムを実
際にお客様に見ていただくコーナーを設けています。なかでも毎回特
にお客様の興味をひくのは、足環とGPS発信器です。お客様のなかには、
郷公園がすべて発信器によってコウノトリの位置情報を入手して
いると思ってられる方が案外多いです。実際には発信器によるものは
10羽に満たず、ほとんどが足環の確認によるアナログ作業であること
をお伝えすると、大変驚かれます。そしてそれらの情報なくしては、郷
公園の研究は成立しません。現在、コウノトリは全国へ飛来していま
す。お近くでコウノトリを見かけた際には、ぜひ写真を添えて情報提
供をいただければと思います。(自然解説員 吉谷優子)



兵庫県立コウノトリの郷公園

Hyogo Park of the Oriental White Stork

兵庫県豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128 tel: 0796-23-5666 fax: 0796-23-6538

開園時間：9:00～17:00

休園日：毎週月曜日

(休日に当たるときは翌日)

12月28日～1月4日

e-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp

ホームページ: http://www.stork.u-hyogo.ac.jp

facebookページ: https://www.facebook.com/satokouen/



HP



FB